

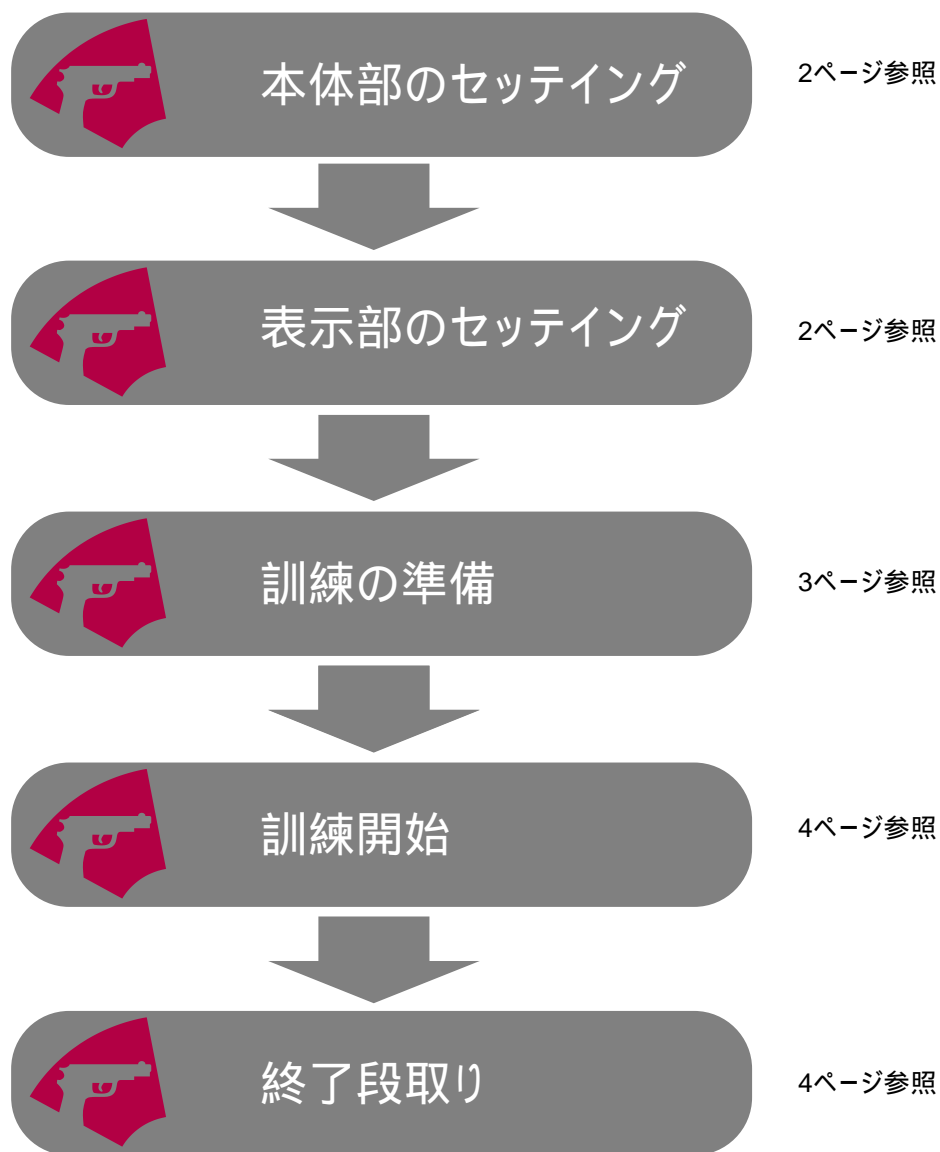
射撃訓練装置

Shooting Training Device

STD-10 ver.3

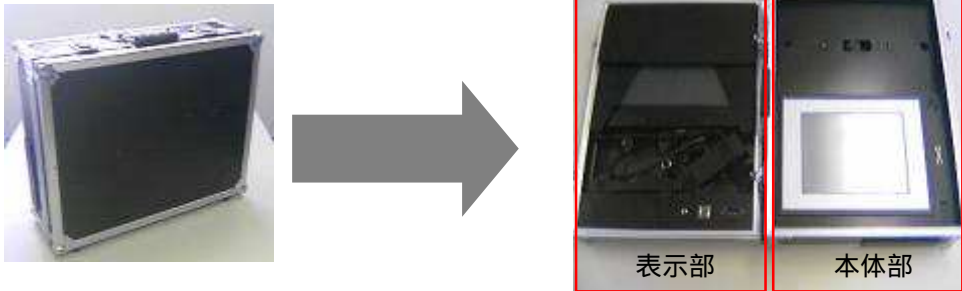
取扱説明書

“ STD-10 Ver.3 ” 使用手順



セッティング

ケースは、本体部と表示部から構成されます。



本体部のセッティング



本体部に、信号ケーブルと電源ケーブルが収納されています。



-1
ケース横には、ケーブルの接続端子があります。左側が信号ケーブル、右側が電源ケーブルです。真ん中の端子は予備(100V)です。

表示部のセッティング

表示部には、カメラの組み付け部品と自立脚が収納されています。



カメラパーツ



-2 アームはネジ式で一体になります。(赤丸の線が目印)

自立パーツ



-1 下記の写真の様に凹み部分をケース枠に固定

表示部(自立状態)



-3
目印を上に向けて表示部に装着します。



-4ケーブルの接続
左:カメラケーブル
中:信号ケーブル(本体と接続)
右:電源ケーブル

訓練開始



訓練の準備

-1 セッティングが完了したら電源を投入します。



電源投入前に、次の最終点検を行ってください。
表示部 カメラや自立脚にガタつきはありませんか？
各ケーブルが正常に接続されていますか？（赤丸の部分）

上記を確認の後、本体部のスイッチを入れます。（緑枠の部分）
電源が投入されるとスイッチのLEDが緑色に点灯します。

【銃の取扱いに関して】

- ・訓練専用の9mm拳銃と89式小銃の2種類を準備しています。
- ・銃には電源スイッチがありません。銃のグリップを握ることにより、電源が投入されます。（電源が投入されると銃口から赤外線レーザーが発光されますので、決して目には向けないでください。）

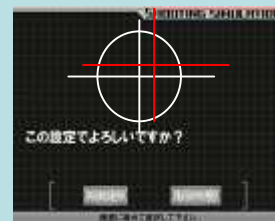
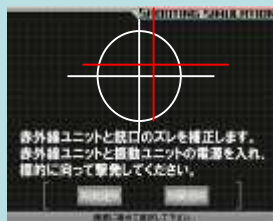


“STD-10 Ver.3”は、単発の練習システムです。
射撃練習は1秒間以上の間隔を持って行ってください。連射は正しく認識しません。

-2 標的を選択



-2 キャリブレーション設定：銃と照準のズレをコンピュータが自動的に補正します。



終了時の準備



訓練開始

-1 訓練



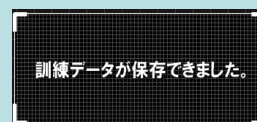
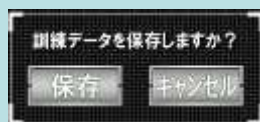
表示部



-2 訓練終了後は以下の手順で訓練データを保存します。



本体部にUSBメモリを挿入



終了時の準備

銃への充電

射撃訓練の際は、十分に銃への充電をした状態で、ご使用願います。

(射撃練習での使用後、都度の充電をお願いします。)

- ・9mm拳銃の目安：約1時間連続使用可能 * 充電には2時間程度かかります。
- ・89式小銃の目安：1000～1500発使用可能 * 充電には5時間程度かかります。

【収納機器一覧】

	品名	仕様	数量
1	本体部	タッチパネル一体型コンピュータ OS:ROM-WINXP、モニター:10.4インチ抵抗タイプタッチ パネル、メモリ:128 MB SDRAM、LAN:2x10/100 Mbps	1
2	表示部	標的用15インチ液晶モニター(特殊フィルム装備) 表示部自立用パーツ含む	1
3	射撃ポイント認識用カメラ	カメラケース、赤外線フィルタ、装着ユニット一体型	1
4	9mm拳銃 89式小銃	赤外線レーザー発光ユニット、トリガ認識ユニット、送信ユ ニット(一体型仕様)	各1
5	訓練データ格納用メモリ	USB対応 32Mバイト	1
6	ケーブル類	電源ケーブル:2本(本体部用・表示部用) 信号ケーブル:1本	3

【お問合せ先】

ADHOC
株式会社 アドホック

〒464-0067 愛知県名古屋市千種区池下1-11-21 ファースト池下ビル3F
TEL: 052-764-2652 FAX: 052-764-2653
URL: <http://www.adhoc.co.jp/>
担当: 高木・林